

2008年夏期講習会統一目標

一人ひとりが「自覚を持った行動を」

- 全社員、全塾生は自覚を持って行動しよう -

開倫塾  
塾長 林 明夫

本年度(2008年度)夏期講習会の統一目標は  
一人ひとりが「自覚を持った行動を」しようです。

(1) 「自覚」とは

自分の 現在いる位置	}	で
自分の 現在置かれている立場		
そこにおける 自分の実力	}	を
そこにおける 自分の能力		
そこにおける 自分の価値		
そこにおける 自分の義務		
そこにおける 自分の使命		
感じる	}	ことを言います。
悟る		
はっきり認識する		

(2) 「自覚を持った行動」とは

家庭での生活	}	生活や活動の場面、場面で
学校生活		
(開倫塾での生活)		
社会での生活(活動)		
自分の実力、能力、価値、義務、使命を 感じ、悟り、はっきり認識しながら 行動することを言います。		

(3) 夏休みは、生活が不規則になりがちになり、気を緩(ゆる)めると事件、事故の多い時期ともなりがちです。また、逆に、取り組み方によっては、いくらでも能力を向上させることのできる絶好の時期です。

「自覚を持った行動」が最も求められる時期が夏休みと考えます。

(4) 全社員、全塾生には、開倫塾の社員、開倫塾の塾生として、「自覚を持った行動を」するよう、積極的に行動して参りましょう。「自らが自覚を持って行動すること」、お互いに「自覚を促すこと」が我々の最大の使命であります。

そう私は確信いたします。

以上